



犯人逮捕に協力し、警察署長から感謝状



東京地本城東地区隊本部 水野非常勤職員は、平成30年12月22日（土）、埼玉県川口市内で発生した器物損壊事件に対し、適切な対応により犯人逮捕に協力したとして、川口警察署長警視正 南里秀夫氏から感謝状が贈呈された。

水野非常勤職員は当日23時頃、川口市内の駐車場前を通りかかった際、2人の男性が駐車場の看板を破壊している現場を目撃、その後現場を立ち去る2人の後を追いながら警察へ通報し、その情報が犯人逮捕につながった。

水野非常勤職員は、「見て見ぬふりを出来ない光景でした。その場で取り押さえようとも考えましたが二人組であったため、110番通報しながら追跡を行いました。今思えば冷静に二人組の特徴、逃走経路を警察へ伝える事ができたと思います。警察官が到着するまでの間、見失ってはいけないと途中走って追いかけて、何とか引き継いで、犯人逮捕に貢献できました。今後とも警察業務に積極的に協力したいと思います。」と感想を述べた。

足立フレンドリーマラソンで自衛官募集



東京地本足立地域事務所（所長 只野二陸尉）は12月23日（日）、荒川河川敷で開催された足立フレンドリーマラソン大会に足立地域事務所員と城東地区隊採用係の計8名が参加して自衛官募集広報を実施した。

会場で所長から全員無事に完走し、出来るだけ多くの方に自衛官募集をアピールするようにとの指示を受けた参加者は、この大会のために準備した「自衛官募集中」未来のために」の文字と東京地本のマスコット「トウチ君」が背中にプリントされたTシャツを全員が着用し、ハーフマラソンの部に出場した。

レース後半では、小雨が降る時間帯もあったが、苦しくても全力で走りきる者や沿道の声援に笑顔で応える者などそれぞれのスタイルで自衛官としての姿を広報した。

ゴールした広報官からは、「これをきっかけに来年は広報ブースも出展して年中行事にしたい」と前向きな感想があり、事務所の団結が一層深まるとともに、他の参加者からは「このTシャツのアイデアいいね」という声も聞こえ、募集活動としても成果があった。

東京地本足立地域事務所では、今後も地域に密着した様々な広報活動に努め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。